

(別紙様式1)

あいさつ運動の好事例

岡山市立西大寺中学校

(生徒数 577名 教職員数 52名)

「西大寺地区一斉あいさつ運動」

～学校・家庭・地域連携の取組～

アピールポイント

- ・毎月10日をあいさつ運動の日とし、生徒会・保護者・教職員が中学校周辺の交差点を中心にあいさつ運動を行っています。
- ・西大寺地区育成協議会の呼びかけで、年2回、西大寺地区の学校園教職員、各町内会長、地域関係機関、保護者、生徒会が一体となって西大寺地区全体であいさつ運動を行っています。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

西大寺地区には、人なつこく、あいさつがよくできる子どもたちが比較的多いです。しかし、自分からはなかなかあいさつができない子どもや、交通ルールが守れない子どもがまだまだ多くいることも現状です。

■活動内容

第1回 平成27年10月9日(金) 第2回 平成28年2月10日(水)

時間：園児、児童、生徒の登校に合わせて30分程度、あいさつや声かけを行います。

場所：自宅近くの通学路、交差点、ゴミステーション等、各学校園周辺

■取組の参加メンバー

西大寺地区育成協議会役員(300名)、学校園教職員、保護者、中学校生徒会、わんわんパトロール隊、西大寺高等学校生徒会・教職員

■成果・効果

「地域のこどもは地域で育てる」をスローガンに、育成協議会が中心となって地域協働の呼びかけを行っています。子どもたちには、地域から愛される西大寺中学校区の子どものよう、あいさつと交通ルールの遵守を呼びかけています。その結果、交通指導に関する地域からの苦情も減少傾向にあります。また、生徒会が中心となってあいさつや自転車点検を行うなどの取組により、一定の成果がありました。